

地震・津波防災訓練 シンポジウム

11月5日は
津波防災の日



日時 平成26年7月30日(水) 13:00~16:30

場所 和歌山市民会館 小ホール

主催：内閣府 共催：和歌山県 和歌山県広川町

プログラム

13:00

開会

13:00 ~ 13:10

開会挨拶

13:10 ~ 13:30

鉄道における津波防災訓練の取り組み

西日本旅客鉄道株式会社
鉄道本部安全推進部安全基準課長

鹿野 篤志

13:30 ~ 13:50

和歌山県津波災害対応実践訓練について

和歌山県総務部危機管理局総合防災課副課長 高瀬 彰彦

13:50 ~ 14:50

【基調講演】

「なぜ人々は津波から逃げることを戸惑うのか
～災害情報と人間心理を知る～」

兵庫県立大学環境人間学部准教授

木村 玲欧

14:50 ~ 15:00

休憩・質問用紙回収

15:00 ~ 16:30

パネルディスカッション

●コーディネーター

兵庫県立大学環境人間学部准教授

木村 玲欧

●パネリスト

西日本旅客鉄道株式会社
鉄道本部安全推進部安全基準課長

鹿野 篤志

和歌山県総務部危機管理局長

高瀬 一郎

宮城県多賀城市総務部交通防災課主査

豊嶋 茂一

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官
（地方・訓練担当）付参事官補佐

宮崎 裕之

16:30

閉会

講師
プロフィール



兵庫県立大学 環境人間学部／大学院環境人間学研究科
准教授 (防災心理学・防災教育学)

木村 玲欧 (きむら れお)

● 経歴・著書等

- ・1975年東京都生まれ。
- ・早稲田大学卒業、京都大学大学院修了、名古屋大学大学院環境学研究科助手・助教、富士常葉大学環境防災学部准教授等を経て現職
- ・主な著書には『日本歴史災害事典』(吉川弘文館) 共編
『戦争に隠された「震度7」-1944東南海地震・1945三河地震』(吉川弘文館)
『超巨大地震がやってきたスマトラ沖地震津波に学べ』(時事通信社) 等がある。

出演者
プロフィール

西日本旅客鉄道株式会社
鉄道本部安全推進部安全基準課長

鹿野 篤志 (しかの あつし)

- 経歴：昭和52年4月 国鉄入社、平成19年6月 鉄道本部安全推進部安全指導課担当課長、平成22年6月 神戸支社明石電車区長、平成24年6月 和歌山支社安全推進室長、平成26年6月 鉄道本部安全推進部安全基準課長

和歌山県総務部危機管理局総合防災課副課長

高瀬 彰彦 (たかせ あきひこ)

- 経歴：昭和62年4月 和歌山県採用、平成24年4月 総合防災課課長補佐兼防災対策班長、平成26年4月 総合防災課副課長

和歌山県総務部危機管理局長

高瀬 一郎 (たかせ いちろう)

- 経歴：昭和56年4月 和歌山県採用、平成23年4月 総合防災課長、平成25年4月 危機管理局長

宮城県多賀城市総務部交通防災課主査

豊嶋 茂一 (とよしま しげかず)

- 経歴：平成17年4月 パナソニックモバイル開発研究所入社、平成21年4月 宮城県多賀城市採用、平成25年4月 総務部交通防災課消防防災係

内閣府政策統括官(防災担当) 付参事官
(地方・訓練担当) 付参事官補佐

宮崎 裕之 (みやざき ひろゆき)

- 経歴：平成9年4月 林野庁入庁、平成14年4月 林野庁整備課、平成20年4月 近畿中国森林管理局森林技術センター、平成26年4月 内閣府政策統括官(防災担当) 付参事官(地方・訓練担当) 付参事官補佐

津波防災の日とは

津波対策の推進に関する法律により、広く津波対策についての理解と関心を深めるため、11月5日を津波防災の日として定めています。

この日は、安政元年11月5日（太陽暦では、1854年12月24日）の安政南海地震で和歌山県を津波が襲った際に、広村（現在の和歌山県有田郡広川町）の庄屋であった濱口梧陵が自らの稲むらに火を付けて、暗闇の中で逃げ遅れている人たちを高台に避難させて救った「稲むらの火」の逸話にちなんだ日です。



濱口梧陵



平成26年度 地震・津波防災訓練 (内閣府) 実施市町

